

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第2区分

【発行日】平成19年1月18日(2007.1.18)

【公開番号】特開2001-189367(P2001-189367A)

【公開日】平成13年7月10日(2001.7.10)

【出願番号】特願2000-26(P2000-26)

【国際特許分類】

H 01 L 21/677 (2006.01)

B 23 Q 3/08 (2006.01)

B 65 G 49/06 (2006.01)

【F I】

H 01 L 21/68 A

B 23 Q 3/08 A

B 65 G 49/06 A

【手続補正書】

【提出日】平成18年11月21日(2006.11.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0024

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0024】

図2(b)は、上記の基板搬送口ボット10が配置された搬送室59と、該搬送室59に接続された処理室51~55との関係を示す図である。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0057

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0057】

更に、アルミナ製のフォーク部22の表面には、アルミニウムから成る保護膜27が形成されているので、基板8の熱輻射は保護膜27によって反射され、フォーク部22が昇温しにくいようになっている。従って、基板の温度ムラが無くなり、反りが補正される。